桑折町都市計画マスタープラン（案）パブリックコメントに対するご意見と回答

桑折町都市計画マスタープラン（案）について、パブリックコメントを実施いたしました結果、次のとおりご意見が寄せられましたので、回答と併せて公表いたします。

〇意見募集期間：令和６年５月１６日～令和６年５月２９日
〇意 見 者 数：２名
〇意　 見　 数：２件

No.	意見概要	回　答	
			計画修正の有無
1	町民に桑折町都市計画マスタープラン(案)の実効性を理解して頂くためにも５年後、１０年後の目標を記載することを提言します。 ・５年後の目標（どの地区でどのような事業を実施するか） ①市街化区域　②市街化調整区域 ・１０年後の目標（どの地区でどのような事業を実施するか） ①市街化区域　②市街化調整区域	都市計画マスタープランは、具体的な事業や整備内容を示すものではなく、まちづくりにおける基本方針（まちづくりの多様な施策を体系づけるもの）を定めるものであるため、当面取り組むべき重要事項を明記してはおりません。個別の施策や実現のためのロードマップ等は、基本的にはそれぞれの実行計画や整備計画等において具体的な検討を行い位置づけてまいります。 なお、まちづくり目標の実現に向けた公共公益施設の整備等については、５年間で実施する各種事業を定めた「都市再生整備計画」を町ＨＰにて公表してございますのでそちらもご参照いただければ幸いです。	本計画の修正なし
2	これからのまちづくりの方向性に関する感想・意見をまとめました。今後のまちづくりの一助とされたい。 ①人口減少を少しでも食い止めるためには:20 代から 30 代の女性が住んでみたいと思う街をつくることにつきる。戻ってみたい、住んでみたいと思う町の実現には、暮らし＝生と死にしっかりと向き合い支えあう多様な地域社会づくりが重要。 ②町民が豊かに暮らすためのベースを守る、つくる:住民が豊かな暮らしを送るうえで欠かすことのできない基盤である「水」「みどり」「食」「エネルギー」「子育て」「教育」「介護」を、町行政と住民自前の事業として、産業として持続可能なものにしていく。 ③自前のエネルギーを持つ：生活を支えるエネルギーの第一となる電力を、「藤倉ダムでの発電」「ゴミ処理場の熱暖房」「半田山の伐採材でのバイオマス発電」等で確保する。 ④従前どおりの教育からの逸脱と新たな展開：現実世界とこれからの未来を生きるための、ゆたかな人生を生きるための、生まれてきてよかったと思える心を養うための教育の在り方と場を考える。 ⑤高校、大学をつくる:いずれ廃校となる校舎を活かして新しい教育の場として「高校」を再生する。 ⑥変わらない風景をより普遍のものに：豊かな暮らしの中に静かに時間が流れる風景は、人の心を穏やかに、豊かにするものであり、町の宝物として進化させる。 ⑦新たな農村集落の在り方を考える：既存のルールとシステムから脱却し、地域の特性を生かしながら、民家や集落を都市住民と地元住民の交流の場に変える。	貴重なご意見ありがとうございました。今後のまちづくりの参考とさせて頂きます。	本計画の修正なし